

第 1 日

社 会

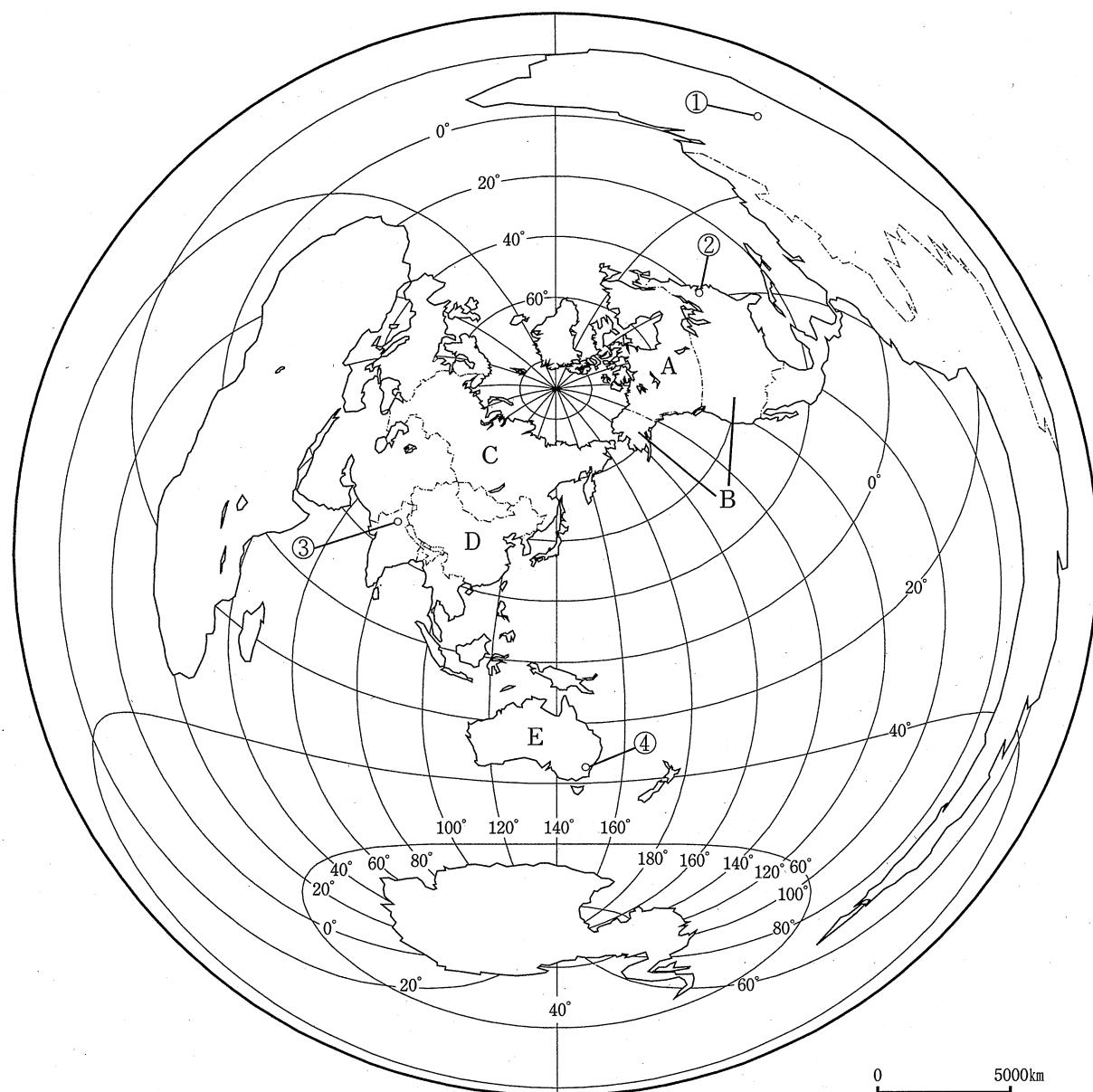
(10:40~11:30)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて7ページあり、問題は**1**から**4**まであります。これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

1 次の地図を見て、あとの1~5に答えなさい。



(この地図は東京からの距離と方位が正しくあらわされています。)

- 1 地図中の①~④の都市のうち、東京から最も遠いところに位置している都市はどこですか。
その番号を書きなさい。また、その都市を首都とする国はどこですか。その国名を書きなさい。
- 2 あとの表中のアは、地図中の①~④のいずれかの都市と一致します。①~④のうち、アに
あたる都市はどれですか。その番号を書きなさい。

都市アと東京の月平均気温・月降水量

上段：平均気温°C 下段：降水量mm

都市	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
ア	20.4 61.3	20.2 54.4	17.6 52.0	13.3 52.9	9.7 41.7	6.5 38.5	5.7 47.6	7.0 52.6	9.9 59.2	12.8 60.3	15.7 66.0	18.8 46.7	13.1 633.3
東京	5.8 48.6	6.1 60.2	8.9 114.5	14.4 130.3	18.7 128.0	21.8 164.9	25.4 161.5	27.1 155.1	23.5 208.5	18.2 163.1	13.0 92.5	8.4 39.6	15.9 1466.7

(理科年表 平成18年による。)

- 3 右の表は、地図中のA～Dの国の面積と人口をそれぞれ示したものです。A～Dのうち、人口密度が最も高い国はどれですか。その記号を書きなさい。

国	面積 (千km ²)	人口 (千人)
A	9,971	32,268
B	9,629	298,213
C	17,075	143,202
D	9,597	1,315,844

(世界国勢団会 2005/06年版による。)

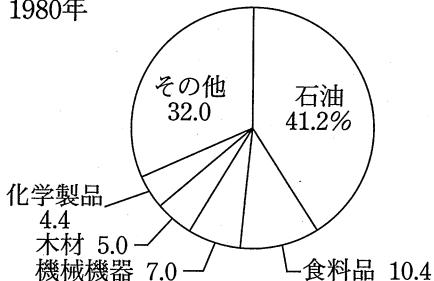
- 4 右の表中のア～エの国は、日本、地図中のB、D、Eのいずれかの国と一致します。ア～エのうち、日本にあたるものはどれですか。その記号を書きなさい。

国	米の生産量 (千t)	食料として消費される米の量 (千t)	農業用機械（農業用トラクター）の保有台数 (千台)
ア	117,620	107,788	926
イ	7,411	7,355	2,028
ウ	6,383	2,736	4,800
エ	861	193	315

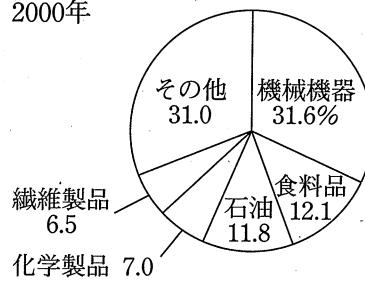
(世界国勢団会 2005/06年版による。)

- 5 次のグラフⅠ・Ⅱは、それぞれ1980年（昭和55年）と2000年の日本の輸入額の内訳を示しています。また、下の表1は1981年～2000年に地図中のDの国などのアジアの国々とアジア以外の国々に進出した日本企業の数を、表2は1981年～2000年にアジアの国々に進出した日本企業の業種別の数を示しています。グラフⅠ・Ⅱに示すように日本の輸入額の内訳が変化した理由の一つとして考えられることを、表1・2をもとに、簡潔に書きなさい。

グラフⅠ
1980年



グラフⅡ
2000年



(日本統計年鑑 昭和56年・平成13年による。)

表1

海外に進出した日本企業の数 (1981年～2000年)	アジア	7,008
	アジア以外	4,706

(海外進出企業総覧 1982・2001年による。)

表2

アジアに進出した日本企業の業種別の数 (1981年～2000年)					
機械機器製造	卸売・小売業	金融・保険など	サービス業	化学製品製造	その他
1,824	1,778	505	460	387	2,054

(海外進出企業総覧 1982・2001年による。)

2 次のA～Eは、それぞれ日本の文化にかかわるできごとについて述べた文です。これを読んで、下の1～6に答えなさい。

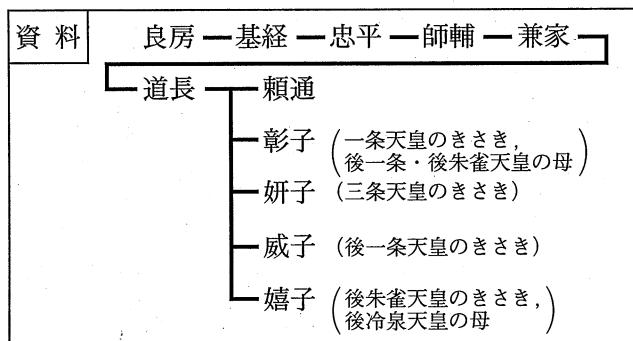
- A 床の間などを設ける書院造という建築様式が発達し、足利義政が東山に銀閣を建てた。
- B 高度経済成長で国民生活は大きく変わり、テレビなどの家庭電化製品が急速に普及した。
- C 大阪や京都を中心に町人の文化が生まれ、近松門左衛門が人形浄瑠璃などの台本を書いた。
- D 西洋の文化が取り入れられる一方で、フェノロサが日本の伝統美術の復興に努めた。
- E かな文字が使われるようになり、紫式部が「源氏物語」という文学作品を書いた。

- 1 次のア～エのうち、Aのころ京都で起こった戦乱はどれですか。その記号を書きなさい。
ア 承久の乱 イ 平将門の乱 ウ 壬申の乱 エ 応仁の乱
- 2 Bのころ、日本と韓国は条約を結んで国交を正常化し、経済協力などを約束しました。この条約を何といいますか。その名称を書きなさい。
- 3 次のア～エのうち、Cのころの農業に関して述べたものはどれですか。その記号を書きなさい。
ア 牛馬による耕作が広まり、米と麦の二毛作がはじまった。
イ 経済の民主化が進められ、農地改革が実施された。
ウ 農具の改良がおこなわれ、千齒こきが発明された。
エ 稲作がはじまり、稻をたくわえる高床倉庫がつくられはじめた。
- 4 次の文は、Dのころの外交について述べたものです。文中の [a] と [b] にあてはまる語はそれ何ですか。下のア～エの組み合わせのうちから選び、その記号を書きなさい。

欧米諸国との不平等条約の改正をめざす日本は、1894年にはじまる [a] との戦争の直前に、まずイギリスとの間で [b] の撤廃を中心とする条約の一部改正に成功し、続いて、他の欧米諸国とも同様の改正をおこなった。その後も、イギリスをはじめとする欧米諸国と条約改正に向けて交渉を続け、1911年に、欧米諸国との間で完全な平等条約を結ぶことができた。

ア [a] 清 [b] 関税自主権 イ [a] 清 [b] 領事裁判権(治外法権) ウ [a] ロシア [b] 関税自主権 エ [a] ロシア [b] 領事裁判権(治外法権)

- 5 右の資料は、藤原氏の略系図です。
Eのころ、藤原道長に典型的にみられるように、藤原氏が摂政などになって政治の実権をとぎることができたのはなぜだと考えられますか。その理由を、資料をもとに、簡潔に書きなさい。

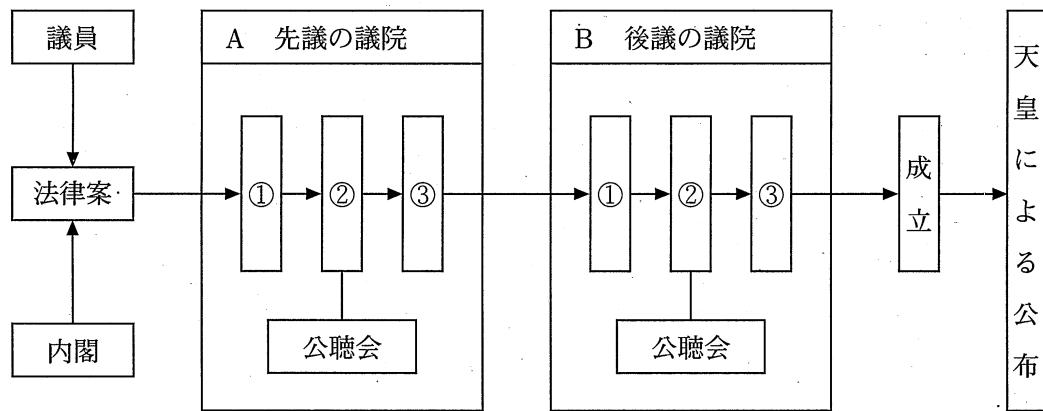


- 6 A～Eのできごとを、年代の古い順に並べ、その記号を書きなさい。

3 次の1・2に答えなさい。

1 次の図を見て、下の(1)～(3)に答えなさい。

法律ができるまでの主な過程



(1) 図中の①～③にあてはまる語を、次のア～ウのうちからそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

ア 委員会

イ 本会議

ウ 議長

(2) 図中のAとBの議決が異なる場合、意見を調整するために各議院から10人ずつ、合計20人の委員で構成される機関が設けられることがあります。この機関を何といいますか。その名称を書きなさい。

(3) 日本国憲法は、「衆議院の優越」を認めています。それは、衆議院が参議院よりも国民の意思を反映しやすいと考えられているためです。衆議院が参議院よりも国民の意思を反映しやすいと考えられているのはなぜですか。その理由として適切なものを、次のア～エのうちから選び、その記号を書きなさい。

ア 衆議院は参議院よりも任期が長く、解散があるため。

イ 衆議院は参議院よりも任期が短く、解散があるため。

ウ 衆議院は参議院よりも任期が長く、解散がないため。

エ 衆議院は参議院よりも任期が短く、解散がないため。

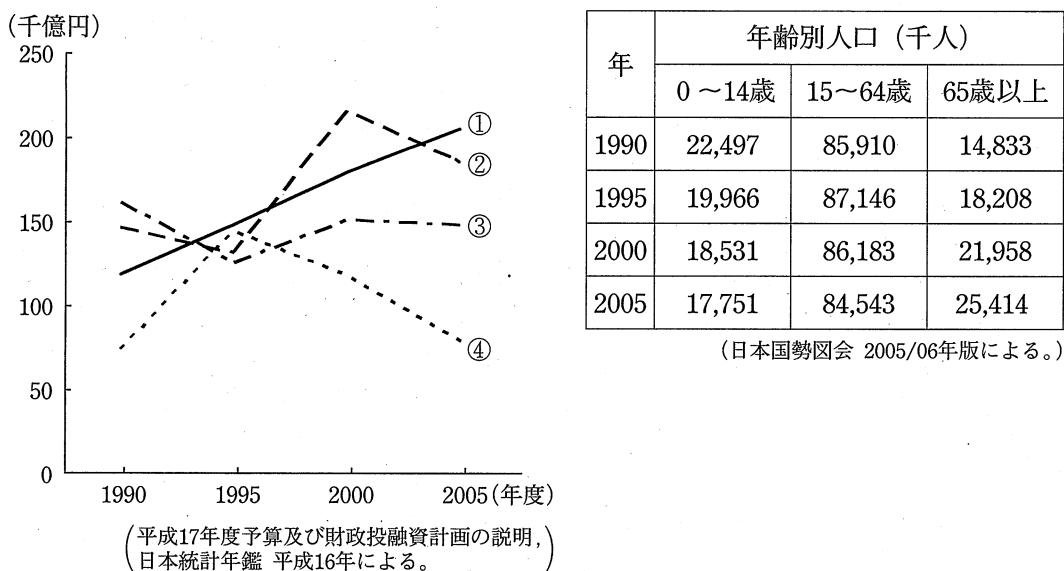
2 財政に関して、以下の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 所得税のように、所得の高い人ほど高い税率が適用されることを何といいますか。その名称を書きなさい。

(2) 次のア～オのうち、公共料金をすべて選び、その記号を書きなさい。

ア 郵便料金 イ 電気料金 ウ 理髪料金 エ 鉄道運賃 オ 映画館入場料

(3) 以下のグラフ①～④は日本の一般会計の主な歳出額の推移を、表は日本の年齢別人口の推移を示しています。①～④のうち、社会保障関係費の推移にあたるものはどれですか。表をもとに判断し、その番号を書きなさい。また、そのように判断した理由を、簡潔に書きなさい。



- 4 次の資料は、「愛知万博メッセージ」の一部です。これを読んで、あとの1~5に答えなさい。

資料

20世紀には、新しい地球社会が生まれた。

信じられないほどの科学・技術の進歩・発展、①高速移動手段の発達と情報・通信技術の進化が、②人・モノ・情報の交流を地球規模で活性化させ、世界を一変させたのだ。

その結果、巨大化した人類の活動は、③地球自然の許容量を超える、さまざまな危機を知らせるシグナルが点滅し始めている。

地球上の総ての「いのち」の④持続可能な共生を、全地球的視野で追求することが、21世紀における地球社会の構成員総ての課題となつた。

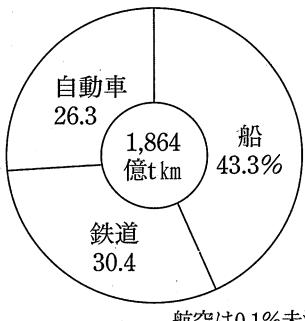
この課題を解決するために、私たちは愛知万博のテーマである“自然の叡知”を縦糸に、豊かな交流を横糸にして、地球社会を包む、柔らかく、豊かさと美しさにあふれる織物を織り上げようと思う。それは地球社会の新しく、美しい装いになるだろう。

「自然のもつすばらしい仕組みと、いのちの力」に感動し、世界各地での自然とのさまざまなつき合い方、知恵に学びながら、⑤多彩な文化・文明の共存する地球社会を創ろうではないか。

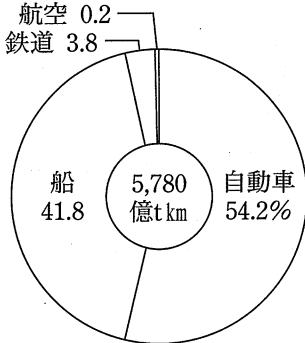
(2005年日本国際博覧会（愛知万博）基本計画による。)

- 1 下線部①に関して、あとのグラフⅠ・Ⅱは、それぞれ1965年度と2000年度の船・鉄道・自動車・航空による国内貨物輸送量の割合を示しています。あとのア～エのうち、国内貨物輸送量の割合の変化と関係の深いことからとして、最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

グラフⅠ
1965年度



グラフⅡ
2000年度



(エネルギー・経済統計要覧 2005年版による。)

t km : 貨物の輸送量を示す単位。1 t kmは、1 t の貨物を 1 km 運んだことを示す。

ア 貿易摩擦の発生 イ 原油価格の上昇 ウ 道路網の整備 エ 鉄道網の整備

2 下線部 ② に関して、日本はこれまで外国とさまざまな交流をしてきました。次の(ア)～(エ)のできごとを、年代の古い順に並べ、その記号を書きなさい。

- (ア) 鑑真が唐招提寺を開いた。 (イ) ザビエルが日本にキリスト教を伝えた。
(ウ) 小野妹子が隋に派遣された。 (エ) 伊藤博文がヨーロッパで憲法を学んだ。

3 下線部 ③ に関して、次のア～エのうち、四日市市で発生し、1972年に認定された公害病の原因となったものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 大気汚染 イ 水質汚濁 ウ 地盤沈下 エ 騒音

4 下線部 ④ に関して、環境の保全に関する施策を総合的に推進するために、1993年に公害対策基本法にかわって制定された法律を何といいますか。その名称を書きなさい。

5 下線部 ⑤ に関して、今日の地球社会は多様な課題をかかえており、その解決に向けての取り組みを、文化・文明の違いを超えて進めていかなければなりません。日本は、発展途上国に対して多くの援助をおこなっており、アフリカではタンザニアに最も多くの援助をおこなっています。次の表1はタンザニアにおける「都市と村落の人口の割合」を、表2はタンザニアの都市と村落それぞれにおける「日常生活で利用できる水を住居から 1 km 以内に確保できる人口の割合」を示したものです。表1・2から、タンザニアにおいて優先的に解決すべき課題はどんなことだと考えられますか。簡潔に書きなさい。

表1

都市と村落の人口の割合 (%)	
都市	村落
32	68

(世界国勢図会 2005/06年版による。)

表2

日常生活で利用できる水を住居から 1 km 以内に確保できる人口の割合 (%)	
都市	村落
90	57

(世界国勢図会 2004/05年版による。)